

岐阜県警察と連携し、自動車盗難防止啓発活動を実施

10.7(トーナン)防止の日～愛車を守ろう in カラフルタウン岐阜～

日本損害保険協会中部支部岐阜損保会（会長：柳野 幹一郎・三井住友海上火災保険株式会社 岐阜支店長）では、岐阜県警察本部・岐阜県損害保険代理業協会・岐阜県自動車盗難等防止協議会（※）と協力し、日本損害保険協会が盗難防止の日と制定した 10 月 7 日（トーナン）にカラフルタウン岐阜において、自動車盗難防止啓発イベントを開催しました。

※岐阜県自動車盗難等防止協議会は、岐阜県内の自動車販売関係団体、自動車整備団体、損害保険関係団体等で構成されており、安全で住みよい地域社会の実現に寄与することを目的として、自動車盗難、車上ねらい等を防止する活動に取り組んでいる団体です。

開催に際し、岐阜県警察本部生活安全総務課林課長から、「岐阜県で自動車盗難が増加しており、自動車盗難は 2 日に 1 回、車上狙いは毎日のペースで発生している。各団体と協力して対策を呼びかけたい。」と挨拶がありました。

続いて、岐阜損保会柳野会長から、「自動車盗難は誰の身に起きてもおかしくない身近な犯罪で決して他人事ではない。このイベントを通じて防犯意識が高まることを期待している。」と防犯意識の向上を呼びかけました。

最後に、岐阜県損害保険代理業協会遠藤会長から、「自分のことは自分で守る意識が大事である。保険は最後の砦であり、対策と保険の加入を行っていただきたい。」と呼びかけました。

イベントでは、実際に解体業者摘発の際に見つかった盗難被害車両の展示や岐阜県の自動車盗難被害状況をパネル展示し、実情を理解していただくとともに、盗難防止対策を紹介しました。

生々しい実際の盗難車を目にした来場者は非常に衝撃を受けた様子で、盗難防止対策について真剣に考えたとい多くの声をいただきました。このような自動車ユーザーへの直接的な啓発が岐阜県内の自動車盗難等の減少に寄与することが期待されます。

岐阜県では、自動車盗難件数が対前年比で大きく増加しています(2024 年 1～8 月 73 件 → 2025 年 1～8 月 115 件 (57.5%増))。

当支部では引き続き自動車盗難件数減少を目的とした啓発活動を進めてまいります。



<岐阜損保会柳野会長の挨拶>



<啓発活動の様子>



<展示品：盗難被害車両>



<展示品：盗難防止対策グッズ>